

環境保全と企業価値向上の2つの価値につながるCSV活動 八ヶ岳高原自然散策路整備ボランティアを実施

そごう・西武

2018/7/20

そごう・西武
HLDGS.

CSRアクション

そごう・西武の別荘地「八ヶ岳高原 海の口自然郷」の開発は、今から55年前、過放牧により治水能力さえ失った裸の土地に、33万本のカラマツを植えることからスタートしました。年月を経て土地が本来の自然を取り戻す一方、木々が育ち過ぎたために日照が遮られ、森にとって健康ではない状態になってしまった場所もあります。そのような場所を、自然と人が共生できる場所に再生させることを目的に、6月18日（月）労使共催で、社員ボランティアによる自然散策路整備を実施しました。日照を遮る木々の伐採や下草刈りを行った場所は、やがて多くの野生生物が集う場所に生まれ変わります。今後も整備活動を継続し、次世代に続く豊かな環境作りと、自然郷の魅力を高める、2つの価値創出に努めてまいります。



そごう・西武
CSR・CSV推進室
薄井 徹



Before



After



倒木や低木を取り除いた場所は、野生生物にも人にも快適な環境になりました。

この取り組みにより、国連で定めたSDGsの目標15に貢献します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

